

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	電波再配分対策		担当部局	総合通信基盤局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成27年度		担当課室	電波政策課		課長 竹内 芳明		
会計区分	一般会計		施策名	V-5 電波利用料財源電波監視等の実施				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	電波法第71条の2第2項 電波法第103条の2第4項第7号		関係する計 画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	電波の有効利用を図るため、パーソナル無線の廃止に係る特定周波数終了対策業務を実施することにより、円滑な周波数再編を確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	パーソナル無線の廃止を含むワイヤレスブロードバンド環境の実現に向けた迅速な周波数再編を行うに当たり、当該無線を廃止した場合、免許の有効期限到来前に利用終了を余儀なくされる利用者が発生することとなる。このため、これらの者に対して、特定周波数終了対策業務による給付金の交付を行うことにより、円滑な周波数再編を確保する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	26	30	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本事業は、円滑な周波数再編の確保を行うものであり、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	給付金支給局数		活動実績 (当初見込み)	局	-	-	-	(1600)
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	特定周波数対策交付金	26	30	平成23年度は4箇月分(12月から対策業務開始予定)、平成24年度は12箇月分(4月から対策業務開始予定)の法人管理費を積算しているため。				
計	26	30						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p><事業所管部局による点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許の有効期限到来前に利用終了を余儀なくされるパーソナル無線利用者に対して、特定周波数終了対策業務による給付金の交付を行うことは、広く当該利用者である国民のニーズがあるもの。また、迅速な周波数再編を進める上で優先度の高い事業である。 ・周波数再編は国が実施しており、それに伴う本事業についても国が実施すべき事業である。 <p><平成23年度新規事業としての点検></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点において未執行のため、明らかになった課題はないが、課題が発生した場合は柔軟に対応予定。 ・電波の有効利用を図るため、パーソナル無線の廃止に係る特定周波数終了対策業務を実施することにより、円滑な周波数再編を確保することを成果目標とする。 	
予算監視・効率化チームの所見			
		事業所管部局による点検が十分行われている。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		今後、執行額の確定時において、使用した経費の十分な精査を行い、適切な執行管理に努める。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1				—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					